

道場主各位

一般財団法人 全日本剣道道場連盟
専務理事 豊村東盛

本年度事業および来年度事業について

皆様のご支援とご協力により、第59回全国道場少年剣道大会には両日とも皇室(三笠宮家)瑠子女王殿下のご臨席を賜ると共に「お言葉」を頂き、大会を盛り上げる事が出来ました。大会初日には、武部新 文部科学副大臣、並びに日本財団 尾形武寿会長、第2日目に阿達雅志 総務副大臣にご来賓を代表しご祝辞を頂きました。

猛暑の中での開催でしたが、全日本剣道連盟のガイドラインを遵守し館内の人数制限と開会式での救護医による注意喚起により、大きな怪我や熱中症、感染症などの体調不良者もなく無事終了することが出来ました。

前期事業の各都道府県少年剣道大会や他の事業も、各都道府県支部のご協力により成果を上げ、10月19日には全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会を鹿児島県剣道道場連盟の主管のもと鹿児島市 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)にて開催し、無事終了致しましたことをご報告します。

後期事業の執行については以下の通りです。

- ① 剣道指導者研修会(秋・春)
- ② レディース剣道大会
- ③ 地区剣道指導者講習会(沖縄)
- ④ 日本剣道少年団(各地区体験発表会・全国体験発表会・書道展・活動表彰)
今年度の全国体験発表会も少年剣士の錬成会を企画し実施する予定です。

近年、剣道を学ぶ少年剣士の減少が切実に感じられる中で、門下生増加を目的に様々な工夫がなされておりますが、成果に直結するような確実に有効と言える対策、手段を見つけることは実質困難です。そのため、まずは減少対策以上に、剣道を始めた者が続けたくなる環境作り、辞めないための努力をすることが第一ではないかと考えております。なぜ今の時代に剣道なのか、本来の目的や、保護者の方が剣道を子供に勧めたときの最初の思いを改めて考える時ではないかと感じています。昨年6月に配布しました『これからの幼少年剣道指導の手引き』を今一度ご参照頂ければと思います。

来年度の全国道場少年剣道大会は日本武道館において7月28日(火)に小学生の団体戦、7月29日(水)に中学生の団体戦を開催する事が決定致しました。

チームの編成人数につきましては、令和5年に全国各支部へのアンケートを実施し、様々なご意見を頂戴し、理事会において協議した結果、3人制で行う事となりました。引き続き3人制で実施して参りますのでご理解頂きますようお願い致します。

その他の事業の日程も一部が確定し、準備を進めてまいります。未定、予定の部分がありますが確定次第、当連盟ホームページで情報を発信してまいります。